



大規模土砂災害を想定 茨城県・桜川市総合防災訓練

8月29日雨空の下、桜川市総合運動公園をメイン会場に、茨城県と桜川市が共同で茨城県・桜川市総合防災訓練を実施しました。

この訓練は、茨城県が毎年、県内各市町村と共同で、地域住民参加の下、地域の実情に応じた災害を想定して実施しているものです。

当日は、地域住民の方約500人や消防機関・自衛隊・警察などの防災関係機関、防災ボランティア、事業所など108団体が協力し、総勢約3,000人が参加。大雨と地震による大規模土砂災害を想定し、本番さながらに訓練が実施されました。

訓練は、最近法整備がされた被災自動車のレッカー移動やベットと共に避難するベット同行避難を含め、さまざまな状況に対応できるように、39種目を実施。災害時の相互協力体制を強化し、参加者の防災に関する理解と意識を高めました。

また、南飯田・坂戸・猿田小学校では、避難所を開設し、地域住民の方が実際に避難する訓練が行われ、災害時の避難方法などを確認しました。

■災害想定

連日の大雨により、土砂災害発生のおそれがあり、桜川市は避難準備情報を発令。その後、水戸地方気象台と茨城県が土砂災害警戒情報を発表。発表を受けた桜川市長は避難勧告を発令。市民は各避難所へ避難を開始した。

避難の最中に、マグニチュード7.3の地震が発生。桜川市では震度6弱を観測し、土砂災害が発生した。

市内各所では家屋などの倒壊が発生したほか、車両の多重衝突や列車の脱線などが発生。多数の死傷者が出ている。

また、道路・鉄道などの交通網、電気、水道、ガスなどのライフラインが壊滅的な被害。市内各所では、多数の避難者が発生している。

県と市は災害対策本部を設置し、被災者の救助と避難者の支援に当たるとともに、関係機関と協力して迅速・的確な応急対策を実施する。

■主な訓練内容

初動対応、住民避難、情報収集、現地災害対策本部設置、広域応援要請、避難所開設・運営・支援、救援・救護、人命救助、ライフライン復旧



桜川市子ども会 リーダー研修会開催 ～福祉・防災宿泊体験～

8月29日～30日に桜川市社会福祉協議会・桜川市子ども会育成連合会主催で福祉・防災宿泊体験が真壁福祉センターなどで開催され、27人が参加。ボランティアとして、市内中学生4人、高校生1人が協力してくれました。

初日は防災訓練、福祉ボランティアの体験や、ドラム缶風呂を作って入浴するなどいろいろなことを体験。参加した子どもたちは、はじめは緊張した様子でしたが、慣れにくると笑顔で積極的に各種活動に取り組みました。2日目は、救急救命講習などを行い、体験の記録をまとめて解散しました。



福祉・防災宿泊体験に参加した子どもたち

関東・東北豪雨で 被災した常総市に支援

市では、9月9日～11日にかけて発生した関東・東北豪雨による洪水で被災した常総市に、支援を行いました。



「茨城県西都市間における災害時相互応援に関する協定」により、9月11日に生活水やアルファ米などの支援物資を2トトラック2台に積み込み、常総市きぬ総合公園の避難所に搬送しました。同日深夜には、おにぎり1,000個を追加支援しました。

9月13日からは、職員や保健師、水道担当者などの人的支援活動も行っています。

【常総市への義援金・物資の支援受付窓口開設】

市役所 総合窓口課（岩瀬・大和・真壁庁舎）

※救援物資は、常総市のホームページ（救援物資の提供について）を確認のうえ、ご持参ください。

■問合先／秘書広報課（☎58-51111・75-31111 代表）